

無人探査機「かいこう」の油圧系統の故障後の確認潜航の結果について

1. 経緯

海洋科学技術センター（理事長 平野拓也）の無人探査機「かいこう」は、平成10年5月16日（土）マリアナ海溝チャレンジャー海淵（深度10,898m）にて調査観察中、ビークル油圧系異常の警報が出る故障が発生したが、船上に揚収後の原因調査によって、船上では正常に作動し、異常は見られなかった。このため、船上の調査で確認されないものとして、高水圧による歪みが大きい部分としては、油圧装置の初動安全のためのアンロード弁用の水中コネクタのみであり、ここで接触不良を起こした可能性があり、この最も疑わしき水中コネクタを予備品と交換して本日5月18日（月）に確認潜航を実施した。

2. 調査の状況

- a. 油圧装置の初動安全のためのアンロード弁用の水中コネクタを予備品と交換した。（5月17日午後）
- b. 確認のため、5月18日7時52分（日本時間）チャレンジャー海淵（深度10,898m）へ潜航を開始し、11時22分海底（10,898m）に異常なく到着した。その後海底での確認潜航中は異常は認められなかった。
- c. 16時18分に「かいこう」は確認潜航を終えて船上に揚収し異常の有無を確認したが異常は認められなかった。（終了時刻17時35分）

3. 今後の予定

- a. 水中コネクタを予備品と交換して確認潜航した結果、異常が発生しなかったことから、原因は水中コネクタの疑いが強く、帰港後同コネクタの水圧テストを行って、技術的な確認と対策検討を行うこととする。
- b. 「かいこう」のマリアナ海溝潜航調査を引き続き予定通り実施して、所期の目的に沿った調査研究を行う。

問合せ先

海洋科学技術センター

研究業務部長	宮崎 武晃	0468 (67) 3935
研究業務部船舶工務課長	富安 和徳	0468 (67) 5651
総務部 普及広報課	喜多河康二	0468 (67) 3806
